

布川孫市 （布川孫市） 倫理學・經濟學・社會學者。明治二年十一月一日山形生れ、昭和十九年八月七日歿（八七〇―一九四四）。筆名むしき庵、山形東根、布川無識庵、布川生、布川靜淵、東根、東根學人、清陰、龍川三軒、無識庵、無識庵主人、無識庵の隱居、無識庵東根、無識庵靜淵、觀潮庵、觀潮庵主人、觀潮庵、觀潮庵主人、靜淵、靜淵學人等。明治二十六年頃東京經濟雜誌社入社。田口卯吉の下で編輯に從事し、併せて論説、雜録等二百餘篇を執筆。のち青山學院教授。

著書『俳諧史傳』（小此木信一朗共著、明治二十七年四月）二十五日女學雜誌社書店）、『階堂深則著『コトのむしき庵』』（編纂校訂、大正十五年四月二十五日一階堂のり行）等。

